

## 1つ1つの議員活動や提案が大きく前進!

### その1) 医療政策課が19名体制でスタート

筑波大学大学院において、保健医療政策学・医療経済学分野で学びはじめ2年の月日が経ちました。議会では、茨城県の保健医療政策に関する多くの提案をしてきました。なんと、**4月より茨城県に医療政策課が誕生**し新体制で事業を展開します。



医師 大久保一郎教授

### その2) 医師確保、偏在対策に向けた新規事業がスタート

①医療提供体制確保基金積立金 (30億円)

・・・医師の確保、その他の医療提供体制の確保を図るための**基金の造成**

②女性医師活躍推進事業 (200万円)

・・・今後、増加する**女性医師のためのキャリア形成支援**

③医師修学資金貸与事業+海外対象医師修学資金貸与事業 (5億23百万円)

・・・「**医師を目指そう!**」

医学部に進学する学生に対する奨学金の拡充

④医療勤務環境改善支援センター事業 (12百万円)

・・・医療従事者が**子育てと仕事の両立をするための保育支援体制の構築**等



恩師の先生からの言葉、一生勉強の言葉を胸に頑張ってます。

### その3) 茨城県で初・正規の歯科医師を1名雇用!

平成23年度第一回目の定例議会で、口腔保健政策の重要性を説明し**公衆衛生歯科医師の雇用**を提案しました。その後、任期付き歯科医師の雇用が始まり、この4月からは歯科医師が正規雇用されました。

### その4) 県立中央病院に歯科口腔外科誕生(総額54,860千円)

関東地方の県立病院に、歯科や口腔外科など口腔に関する診療科がないのは茨城県だけであり、新設の提案をしてきました。**4月より歯科口腔外科が誕生**し、入院中の患者様の口腔ケアや難抜歯などの診療がはじまっています。



新しい歯科口腔外科診療所にて

## 医療人材の育成について

【設案】茨城県は医師不足並びに偏在が大きな県であり**安定した医師の確保が重要**です。第6次茨城県保健医療計画では、本県高校出身の医学部進学者の平成25年から29年までの5年間の目標を掲げておりますが達成は難しい状況です。

提案①**学力の向上**

②**医師の仕事の魅力ややりがい**を醸成し、**将来的に医師になる生徒を育む**

入学者	茨城県の高校出身の医学部進学者				合計
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
	133人	143人	155人	150人	581人

【小野寺教育長】

医学部を進学する子どもたちは、徐々に増加しております。目標の達成には至りませんが、今年度は、手術現場の見学など**様々な体験を通して医学を目指す子どもたちを育てていきたい**と考えます。

## 口腔がん検診にむけて ~お口の中にもがんができますよ~

【設案】口腔がんは世界的に増加傾向を示しており、口腔の疾患による死亡の原因として、公衆衛生上の大きな問題になっております。高齢化は、口腔がんの原因の一つです。特に、たばこや酒の嗜好者は、約5倍の発生率になります。

**口腔がんは、約半分が進行した状態での受診になり、早期発見・治療が重要です。**

提案①口腔がん検診に向けた有識者会議や歯科医師の研修の機会の確保

②**県民の皆様への口腔がんに対する啓発**  
(お口のなかをみてください)

【保健福祉部長】

歯科医師が日常の診療のなかで、口腔がんがみつけれられるように研修の機会等の確保を関係団体と連携して行うとともに、県民が**歯科への定期検診に行くように啓発**します。



筑西市では口腔がん検診を行っています

## 茨城県全体の睡眠医療

【設案】茨城県ではトモス水戸に茨城県立睡眠医療クリニックをオープンしました。**県全体への睡眠医療への理解や推進**をどのようにはかっていきますか。

【茨城県立こころの医療センター 土井永史病院長】

クリニックの開院を機に、**研修会や勉強会を開きすこしずつ県内にネットワークを構築**していきたい。

【ご連絡】

6月4日 日曜日 1時半~

まちづくりカフェピーチ (二木成993)

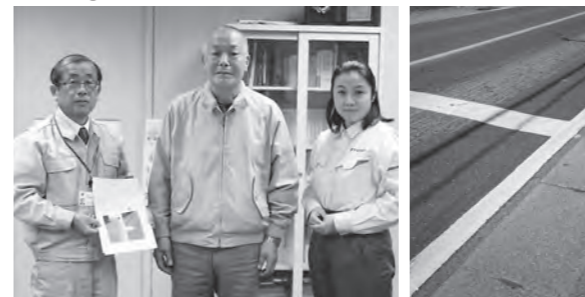
「こころよい睡眠は人生を変える」

こころの医療センター 医院長 土井永史先生



## 頂いたご要望のご報告

その① 黒子交差点



県道谷和原筑西線の轍の補修の要望書を提出し、補修が完了しました。

その② 下館・大町交差点



筑西警察署長に大町交差点の信号等の要望書を提出し、自転車横断帯が補修されました。